

## 財産の状況

バランスシート（貸借対照表）は、企業の財政状態を明らかにするため、保有するすべての資産、負債および資本を表示したもので、株主などに会社の経営内容を知ってもらうため

に作成される報告書です。次の表は、平成23年度末現在での水道事業の財政状態を表したものです。

バランスシート（貸借対照表）

区分	金額	区分	金額
固定資産	80億5,797万円	流動負債	1億 144万円
有形固定資産 (建物、配水管、水道メーターなど)	80億5,797万円	未払金 (未払いの債務)	4,426万円
		前受金 (概算払いの水道料金)	6万円
		その他 (下水道使用料預り金など)	5,712万円
流動資産	6億 780万円	資本金	64億9,750万円
預金現金 (手持資金)	4億8,869万円	自己資本金 (建設改良積立金の取崩額など)	16億6,209万円
未収金 (未納水道料金)	1億1,726万円	借入資本金 (企業債)	48億3,541万円
貯蔵品 (たな卸資産)	182万円	剰余金	20億6,683万円
その他流動資産	3万円	資本剰余金 (工事負担金など)	16億 708万円
		利益剰余金 (減債積立金など)	4億5,975万円
資産合計	86億6,577万円	負債・資本合計	86億6,577万円

## 借入金の状況

安定した水の供給を維持するためには、常に浄水場や配水管などの水道施設を整備し、また、これから施設更新時期を迎える水道施設を計画的に整備していく必要があります。

この整備には、莫大な資金が必要となり、手持ちの資金だけでは賅うことができません。そこで、国などから資金を借り入れし、水道料金の一部を返済に充てています。水道事業では、この借入金を「企業債」と呼んでいます。

この借入金は、財政的負担の軽減や、将来利用する市民にも公平に負担してもらうという目的も含め、長期の計画で返済しています。

平成23年度末現在で借入元金の残高は、バランスシートに示したとおり48億3,541万円となっています。これを給水人口1人当たり換算すると9万5,202円になります。

## 水道施設整備の状況

平成23年度に実施した主な工事は、次のとおりです。

区分	工事内容	事業費
送配水管新設工事	幹線となる配水管などを布設し、水道水の安定供給を図るための工事を行いました	5,839万円
送配水管改良工事	赤水発生や地震などの災害に強い水道施設の整備を図るため、老朽化した配水管の改良（更新）工事を行いました	6,866万円
送配水管移設工事	道道の工事などに伴い、配水管の移設工事を行いました	299万円
水道メーター取替工事	計量法で定められている水道メーターの取り替え（8年ごと）の工事を行いました	2,375万円
その他設備工事	浄水場の電気設備の一部の取り替えなどの工事を行いました	621万円

9万5,202円



問い合わせ

水道グループ

☎(85) 5501

FAX(85) 5805